

## 江別市行政審議会 「第 1 部会」 の第 5 回審議会での主なご意見

### 《本体素案に関する内容》

#### ■ まちづくり政策について

- ◎ 政策 08 の「協働」の政策をもう少しクローズアップできないか。実際の政策がどのように実行されていくかを検討いただきたい。
- ◎ 産学官連携という意味での大学との連携については記載があるが、地域課題の解決といった側面のまちづくりにおいて、大学と連携するという点についての記載も「まちづくり政策」の中で謳うことを検討いただきたい。

### 《別冊・えべつ未来戦略に関する内容》

#### ■ 戦略 1 について

- ◎ 戦略 1 A①「協働によるまちづくり」の主な内容欄の中に、「高齢者をはじめ、多世代の協働による」というような表現を入れて、高齢者の生きがいにもつながるような要素を盛り込み、高齢者が地域課題の解決に関わっていくことを明確にすることを検討いただきたい。
- ◎ 1 A-1 の指標の「協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合」について、「協働によるまちづくり」とは何かということ、市民が実際にわかるかどうかを踏まえた上で目標の設定を検討いただきたい。
- ◎ 戦略 1 B①の主な内容欄の記述について、「支援することで」といった表現など、行政目線が強い記述の仕方になっているので、工夫していただきたい。

#### ■ 戦略 2 について

- ◎ 戦略 2 A と 2 B が、タイトルだけを見るとかなり類似しており、内容を詳しく知らずに市民の方が見たときに類似したものと感じるのではないかと懸念される。
- ◎ 戦略 2 A④について、環境ビジネスの創出という視点を入れて、戦略 2 A④の大学・研究機関との共同研究という部分に関連付けられないかを検討いただきたい。

#### ■ 戦略 4 について

- ◎ 戦略 4 のシティプロモートについて、推進プログラムで「生活情報の発信」、「観光・産業情報の発信」、「まちづくり情報の発信」となっており、様々な情報を全体的に発信していくというやり方のようなものであるが、シティプロモートのしやすさの観点から、メインとなる対象を定めるなど戦略性を持った推進を検討いただきたい。

## 江別市行政審議会 「第2部会」の第5回審議会での主なご意見

### 《本体素案に関する内容》

#### ■ まちづくり政策について

- ◎ 政策02-03(2)「江別ブランドの確立」について、江別の場合は観光と物産が非常に密接に繋がっているため、観光よりむしろ「物産」の方が連携しやすい。今後の観光の広がりを担保する上でも、「物産」という言葉をどこかに入れておくことを検討いただきたい。
- ◎ 政策02「産業」について、「えべつ未来戦略」だけでなく、「まちづくり政策」でも、今までのような生産は生産、加工は加工、流通は流通と分かれている状態にあるものを、この総合計画を機会に、1つの商品を通じてお互いに連携を図っていくという共通認識を持って進めることができるようになることが、一番大切である。市民や関係者が、総合計画を読んだときに、そのように認識できるような表現になるよう努められたい。

#### ■ その他

- ◎ 経済基盤の部分について、江別が石狩管内で下位にある現状をグラフなどの視覚的な表現にするとわかりやすくても良いかもしれない。また、文章通り読むと、江別の産業は大変深刻な状況なのではないかと受け取られてしまうので、人口あたりの産業規模が小さいという現状分析の記載の部分と戦略2の産業活性化に取り組んでいくという記載の間で少し文章を工夫して、まだ伸び代があるということを表示するとともに、江別市の性質を踏まえた補足説明を検討いただきたい。

### 《別冊・えべつ未来戦略に関する内容》

#### ■ 戦略2について

- ◎ 戦略プロジェクト2Aの③「地域に根差した商店街の魅力づくりへの支援」の内容欄は、「学生が地域住民と交流し」となっているが、学生に限定せずに、定年退職したばかりの元気な方が持っている技術や趣味を活用したり、次の世代に伝えていったりできるような、元気な高齢者の方が商店街等で活躍できる場をつくっていくことを検討いただきたい。
- ◎ 戦略プロジェクト2Cの②「潜在労働力の掘り起こし」の主な内容欄から想定される取組として、たとえば子育てを終えた女性が働ける場や、元気な高齢者が活躍できる場をつくることを検討いただきたい。

#### ■ 戦略4について

- ◎ 戦略4のシティプロモートの「達成度を測る指標」の設定は、難しいのではないかと懸念されるため、アンケート調査の手法等について検討いただきたい。

## 江別市行政審議会 「第3部会」の第5回審議会での主なご意見

### 《別冊・えべつ未来戦略に関する内容》

#### ■戦略3について

- ◎ 「コンパクトなまちづくり」ということだけが独り歩きし、現実とかけ離れるのではないか、あるいは「えべつ版コンパクト」のニュアンスがなかなか伝わらないのではないかと危惧する。駅周辺以外の地区のことも十分考慮するという文言が入っているが、これから10年間でこれをどう具体化していくかが重要である。この点をぜひとも担保して、これからの施策展開に取り組んでいただきたい。
- ◎ 公共交通の問題について、総合計画に謳ったことが実現できる手立てを早急に検討し、計画ができると同時に大筋の対策ぐらひは打ち立てられなければ、計画書だけが独り歩きすることになってしまう。記載できるものについてはある程度「見える化」するなど、何らかの形で市の意思表示を具体的に示すよう努められたい。
- ◎ 戦略3Aの推進プログラム①で「産み育てる」がタイトルになっているので、主な内容欄を「既存の子どもを産み育てる支援政策を」という表現にして、現在進めている子どもを産み育てるための支援策と併せて一体的に進めていく表現を検討いただきたい。

#### ■戦略4について

- ◎ 戦略4Aから想定される取組として、「住んでもらうため」、「来てもらうため」のイメージづくりをアピールするために、江別市の自然景観、農産物、食品などの情報をコンパクトにまとめて、視覚に訴えて目を引くような新たな資料を大量に作成し、市内各団体に配布して、市民一人ひとりが広報マンになっていくというようなキャンペーンを打つようなことを実施するよう努められたい。
- ◎ 江別市のブランディング（ブランドとして認知されていないものをブランドとして構築するための活動）を総合的に一体的にやるというところが、今の江別市で欠けている状況である。江別市と企業などの間で、PRのためのコンソーシアム（個人、企業、団体、行政などが、共同で何らかの目的に沿った活動を行うために結成する組織）のようなものをつくるなど、行政が主体となるのか、あるいは行政以外が主体となるのか、情報発信の主体の組み合わせを上手く考えられるような仕組みづくりについて、個別計画や事業計画につなげていくためにも、何らかの形で総合計画の中で明記していただきたい。
- ◎ 戦略プロジェクト4Aにある「関係するまちづくり政策」の欄に「09-02 透明性の高い市政の推進」とあるが、この政策の取組は、市民に対する内容だけであることから、市外の人に「住んでもらうため」、「来てもらうため」のイメージづくりというところをアピールするために、審議会で提案された取組などの意見をどのように盛り込めば良いかを検討いただきたい。

#### ■その他

- ◎ 総合計画の性質上、大枠だけを決め、個別具体的な事業計画は、これから考えていくことから、どうしても具体の部分がぼやけてしまっている。どのように取り組んでいってほしいか、あるいはどのように取り組んでいくのかという意思表示を何らかの形で答申に入れる必要がある。少なくとも、人のつながりという部分で、当事者になれる枠組みが必要であり、その枠組みをつくるべきであるという内容の記載を検討いただきたい。